

ヒカルド・バセラルとエアート・モレイラ、ジャズとアフロ・ブラジル文化を融合したシングル『Mestre Novo da Guine』をリリース

PR TIMES / 2026年3月28日 10時10分

最新アルバム『Maracanos』に先行して3月27日に各種プラットフォームで配信開始



画像1: [https://prodn.freemts.fastly.net/release_image/127766/9/127766-9-59d4ca71b0546aa948ce2e6555ae3557-1500x1500.jpg?](https://prodn.freemts.fastly.net/release_image/127766/9/127766-9-59d4ca71b0546aa948ce2e6555ae3557-1500x1500.jpg?width=536&quality=85&format=jpeg&auto=webp&fit=bound&bg-color=fff)
width=536&quality=85&format=jpeg&auto=webp&fit=bound&bg-color=fff

シングル『Mestre Novo da Guine』

作曲家でパーカッション奏者のエアート・モレイラ (Airtto Moreira) と、ピアニストで作曲家、プロデューサーのヒカルド・バセラル (Ricardo Bacelar) の共同プロジェクトからの先行シングル『Mestre Novo da Guine』が3月27日に各種プラットフォームで配信開始となります。同シングルは、ブラジル、アメリカ、ポルトガル、フランス、ドイツ、中国、日本で4月にJasmin Musicから発売されるアルバム『Maracanos』に収録されています。

シングル『Mestre Novo da Guine』(エアートとヒカルドの共作) は、アルバム中で唯一の歌詞付きの楽曲。ルイス・リマ・ヴェレラの作詞で、バセラルがヴォーカルを担当しました。バセラルはシングル曲について、「この曲は、リーダーとなるべく運命づけられ、先祖からアフロ・ブラジル文化を代表し自由のために戦い使命を授かったメストロの人生を歌った作品で、ガブリエル・ラージェが監督した同曲のミュージックビデオは、アフロ・ブラジル文化に関する深い研究から生まれ、楽曲が持つ音楽性と映像表現が見事に融合されている」とバセラルは語っています。曲名にある「Guine(ギニア)」は西アフリカの国であり、シングルとアルバム両方のジャケットを飾るアクレ州出身のアーティスト、フェルナンド・フランサ作の絵にもインスピレーションを与えました。バセラルによると、これらの絵は「ブラジルとアフリカの融合」という要素を取り入れ、このプロジェクトのために特別に描かれたものと見えます。シングルジャケットには、ピアノを弾くバセラルとビリンバウ(ブラジルの民族楽器)を手にするエアートが描かれており、二人ともブラジルの象徴する鳥トウカン(オオバン)モチーフに似た帽子をかぶっています。

シングル曲の歌詞にはオシャラーやオジュマレー、イェマンジャー、シャンゴーといったカンドンブレの神々の名前が出てきます。

画像2: [https://prodn.freemts.fastly.net/release_image/127766/9/127766-9-9ba3e4e355ab6717c33f1a5190433c9-3000x2000.jpg?](https://prodn.freemts.fastly.net/release_image/127766/9/127766-9-9ba3e4e355ab6717c33f1a5190433c9-3000x2000.jpg?width=536&quality=85&format=jpeg&auto=webp&fit=bound&bg-color=fff)
width=536&quality=85&format=jpeg&auto=webp&fit=bound&bg-color=fff

エアート・モレイラ、ヒカルド・バセラル (撮影/Maria Bacelar)

音楽プロデューサーの中原仁氏(リノ)はバセラルについて、「名だたるアーティストたちタッグを組んだ作品を次々と発表しているがアーティスト・作曲家と評しています。同氏によるとリノはバセラルとエアートは、جوم・トプ・アスレイを介して知り合った」とのことです。جوم・トプ・アスレイはエアート&フロアのドキュメンタリー映画を手がけた監督で、日本でも公開された『エリス&トモ ホサナワ 名経誕生秘話』の共同監督でもあります。

初めての出会い

ヒカルド・バセラルとエアート・モレイラは、2025年にセアラ州フォルトレーザにあるジャミングスタジオでエアートが行ったアーティスト・イン・レジデンス(滞在型制作活動)で初めて出会いました。エアートは80年以上にわたるパートナーである歌手のフロア・プリムとシングル『Aqui, Oh!』(各種プラットフォームで配信)中未発表のアルバム、そして現在制作中の長編映画のコーディングと撮影を行いました。この映画は、世界のジャズ史の中で中心的な位置を占めるエアートとフロアの二人がスタジオで再共演する様子を記録したものです。『Maracanos』は、その映画やフロアとエアート、ヒカルドたちのアルバム制作の過程で生まれた作品で、二人の書き下ろした楽曲からなるインストゥルメンタル主体のアルバムです。

「制作プロセスの過程でレコーディングも進めました。ヒカルドは自身の仕事を熟知しています。ジャミングスタジオは素晴らしいスタジオで、最高品質のレコーディングに必要なすべてが揃っており、そこで私たちの協力が協力的に取り組めたことが非常に重要でした」と語るエアート・モレイラは、今年4月に米国ジャズ界の最高の栄誉である「NEAジャズ・マスターズ・フェロシシップ」を授与されることになっています。全米芸術基金(NEA)が主催のこの賞は、数十年にわたるジャズの発展に顕著な貢献をしたアーティストに贈られるもので、これによってエアートはジャズ史上最も重要なアーティストの一人に名を連ねることになります。

ヒカルド・バセラルにとって、現代パーカッションの父と称されるエアート・モレイラとの共演は、成熟と創造の自由が交差する芸術的交差点という貴重な機会となりました。バセラルは「私たちは1週間、毎日共に演奏し、一緒にテーマを掘り込んでいきました。彼が作曲、私が作曲ハルを担当しています。非常に没入感のある仕上がりとなっており、現代の音楽業界における一般的な商業モデルとは異なる、長い尺の楽曲や旋律の探求を特徴としたアルバムを自由に作りたかった」と振り返っています。

エアート・モレイラのプロフィール

1960年代に渡米して以来、マイルス・デイヴィスをはじめ、ウェイン・ショーター、デイヴ・ホランド、ジャック・ディジョネット、チック・コリア、ジョン・マクラフリン、キース・ジャレット、サンタナ、ジョー・ザヴィヌス、ジャコ・パストリアス、アル・ディ・メオラ、スタン・ゲッツ、ジョージ・ベンソンらジャズ界の巨星たちと共演を重ねてきたエアート・モレイラを突き動かす原動力となっているのは創造の自由です。「こうした巨匠たちと演奏を果したてきた自分自身も、自分が常に創造性に対して開いてきた証です。彼らの邪魔をするでもなく、自分自身も迷わずに作品を生み出すには、自らの音楽的本能を信じなければなりません。私は子供の頃からずっと自分の本能を信じて続けてきました」とエアートは語っています。

現在84歳で80年を超える難かしいキャリアを持つエアート・モレイラは、溢れる知性を湛えながら新アルバム『Maracanos』のリリースを目前に控えています。「私たちはアーティストは音楽を所有するのではなく音楽を演奏するために存在します。それは創造性に関わることであり、エゴを抱えるということにはつながりません。今回、そのすべてを実現できたことを心から嬉しく思います。実際に私はインスピレーションを感じています」。

ヒカルド・バセラルにとって、エアートとの共演は、音楽と映画、歴史的記録を繋ぐ新たな制作サイクルの幕開けとなりました。それは世代間の対話を広げ、国際的な音楽シーンにおけるブラジルのインストゥルメンタル・ミュージックの生命力を改めて証明するものとなりました。

ヒカルド・バセラルのプロフィール

シングル『Mestre Novo da Guine』とアルバム『Maracanos』はともにブラジル北東部セアラ州出身のヒカルド・バセラルが立ち上げたレーベルからリリースされました。マルチンストゥルメンタリストであり、歌手、編曲家としても活動するバセラルは、自身のレーベル「Jasmin Music」を率いて、ブラジルの良質な音楽を大切にしながら、シルベリオ・リノをはじめ、トニーニョ・オルタ、ロベルト・メスカル、レイラ・ベニエロ、ジャキス・モレノ、バウム、フロア・プリム、フラウイオ・ヴェントゥーリニ、フাগネル、エドナルド、アメリニョ、デリア・フィッシャーといったブラジルのアーティストたちとともに様々な作品を送り出しています。

『Mestre Novo da Guine』(エアート・モレイラ/ヒカルド・バセラル/ルイス・リマ・ヴェレラ)

エアート・モレイラ、パーカッション
ヒカルド・バセラル、ヴォーカル、アコースティック・ピアノ、フェンダー・ローズ、ハモンド・オルガン
パーカッション、キーボード、エレキギター、サンプリング、モジュラー・シンセサイザー
ホト・ジュニオール、パーカッション
ネリオ・コスタ、エレキベース
バンチコ・ホシヤ・ドラマ
マルシオ・ヘンデズ、テナー&ソプラノ・サクソフ
ステディオ・ゴンザルヴェス、エレキギター
マリア・バセラル・ボーカル
サラ・バセラル・ボーカルアレンジ、ボーカル
エリ・エウ・フェレイラ、ボーカル

歌詞
『MESTRE NOVO DA GUINE』(エアート・モレイラ、ヒカルド・バセラル)
マレー島から響いてくる Vem da Ilha de Maré
アシェの打楽器のリズム Um batuque de axé
イウナが告げる A kúna anunciou
ギニアの新たなメストロの誕生 Mestre novo da Guiné
ギニアへと私を呼ぶ Pra Guiné me chamou
祖父から学んだ Aprendi com meu avô
自由に色は流れ Liberdade não tem cor
友よ、私は歩み出す Camará vou dar no pé
カポエイラが私を呼ぶ Capoeira me chamou
ギニアへと Me chamou pra Guiné
完全なる抵抗は Resistência plena
この増殖の石の上に血を流した Sangrou nas pedras desse país
自由は私の先祖たちの血でできている Liberdade é feita do sangue dos meus ancestrais

オシャラーが私を立ち上げさせた Oxa! me põe de pé
オジュマレーの光の中に Na luz de Oxumaré
イェマンジャが私を洗った Iemanjá me batizou
イガラッベの水の中で Sou água do igarapé
私はシャンゴの戦士 Sou guerreiro Xangô
私は夢見たものために戦った O meu pai tanto lutou, Para ter o que sonhou
私も戦い、信念を持って戦おう Vou lutar com muita fé
私の息子は主(あるじ)となるだろう Filho meu será senhor
イウナが告げた A kúna anunciou
オシャラーが私を立ち上げさせた Oxa! me põe de pé
イェマンジャが私を洗った Iemanjá me batizou
オジュマレーの光の中に Na luz de Oxumaré
完全なる抵抗は Resistência plena
この増殖の石の上に血を流した Sangrou nas pedras desse país
自由は私の先祖たちの血でできている Liberdade é feita do sangue dos meus ancestrais
マレー島から響いてくる Vem da Ilha de maré
アシェの打楽器のリズム Um batuque de axé
イウナが告げる A kúna anunciou
ギニアの新たなメストロの誕生 Mestre novo da Guiné
ギニアへと私を呼ぶ Pra Guiné me chamou
完全なる抵抗は Resistência plena
この増殖の石の上に血を流した Sangrou nas pedras desse país
自由は、私の先祖たちの血でできている Liberdade é feita do sangue dos meus ancestrais

本シングルは、プラットフォームで配信されます。(<https://fm.to/mestreguine>)

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=KieXbkUB9cA>

企業プレスリリース詳細へ

PR TIMES ショップへ

f

X

楽天ブログに投稿

PR TIMES

リアクションボタンは広告の下にあります

この記事に関連するニュース

GWD4日間、異なるユニットが織りなす生演奏に臨むいれる音楽体験洋食レストラン海『GWD 4Days Dinner Live』が5月2日より開催
©Press / 2026年4月24日 10時30分

ヒカルド・バセラル&エアート・モレイラ 共同制作アルバム『Maracanos』をリリース
PR TIMES / 2026年4月24日 11時15分

2026年のゴールデンウィークは三浦海岸へ！今年も「三浦海岸ビールまつり」開催！
Datal PR Platform / 2026年4月20日 18時49分

入場無料！「TAKANAWA GATEWAY CITY」で新しいジャズに出会う Festival Django Reinhardt JAPAN in TAKANAWA GATEWAY CITY
PR TIMES / 2026年4月11日 18時49分

高岩達が語る「楽しめた先のポップスター」 ジャズを核に「Ain't Nobody's Business」で切り開く新章
Rolling Stone Japan / 2026年4月9日 17時30分

総合	芸能	社会	スポーツ	経済	国際	IT	ライフ
----	----	----	------	----	----	----	-----

「ローカル路線」人気集める理由	New	5月使用分の電気・ガス料金は
山崎製パン 300品値上げへ		日銀 政策金利据え置きを決定
日中間関係悪化で中国便が93%減		薬師在庫が…悲劇に近づく
日銀総裁「十分に留意する必要」		サードフィン なぜ今口直し？
JR西が銀行サービス参入の方針		「やりすぎ」改悪で破滅回避の声
「人経めたら2000万円の損失」		デニソーがローマ買収案を撤回
はてな株 2日ぶりに売買成立		ホトドッグ販売停止 賛否の声
ファミマ 低価格バスタバ販売		「じゃぶ菓」炎上「スケル豚」は…
なぜ電球メーカーがキノコに？		「東日本も廃止が…」4月号で休刊
ノートPCだけで仕事する人は…		ビズリーチCM「無理では」の声も

総合	芸能	社会	スポーツ	経済	国際	IT	ライフ
1	「20年住んでも、結局よそ者」・年金22万円・70歳夫婦が地方移住に失敗したワケ、900万円で買った古民家から、「家賃8万円」都内郊外の賃貸マンションへ引っ越し						
2	NECが日立ら出演で話題、ビズリーチ「社長は本気だCM」企画時に「無理では」の声も 社長が語る裏話						
3	高齢者医療費削減負担原則を提言 財務省、現役負担減で公平化狙い						
4	米国産の原油タンカー急増＝喜望峯回りの多数、代替調達か						
5	電気・ガス代 5月分は小幅な値上がり…中東情勢による燃料高騰は6月以降に反映か						

Copyright (c) Vector Group, PR TIMES Inc. All rights reserved.

